



もんま 門馬 まりえ 議員

### がん検診

## 要精密検査者に対する早期受診勧奨は

町長／通知や電話等で個別に勧奨を行っている

門馬：当町の2020年のがん検診については、新型コロナウイルスの「受診控え」が考えられるような各がん検診の受診率の変化はあったか伺います。

町長：がん検診受診率の結果の前年度との比較は、がん検診全体で平均10・3%減少しており、新型コロナウイルスの影響による受診控えがあったものと捉えています。

門馬：第2次広野町健康づくり計画の中で、行政がすべきこととし

て、精密検査未受診者に対する早期受診勧奨をするとされています。2020年の精密検査者に対する実施状況について伺います。

町長：要精密検査者への受診勧奨については、がん検診受診者への検診結果通知の際に精密検査受診勧奨通知を同封する対応を行っています。精密検査受診勧奨通知から受診期間後においても未受診の場合、電話等において個別に受診勧奨する対応を行っています。

### 学校図書館

## 蔵書の状況・子供たちに望むことは

教育長／心情豊かに成長できる環境を整備しつつ

門馬：文部科学省は2026年度までに全小中学校で「学校図書館図書標準」で示す蔵書数の達成に向け、「十分な図書費の予算を確保している」と答えています。

そこで、当町における小中学校で蔵書数は達成されているか伺います。

教育長：文部科学省が定める学校図書館図書標準による標準蔵書数は、広野小学校は6040冊、広野中学校は6080冊となっており、令和5年3月1日現在、広野小学校の蔵書数は1万6590冊、広野中学校の蔵書数は3476冊となっており、中学校において2604冊の不足となっております。

門馬：調査から古くなった本の廃棄を学校に勧めたいない自治体が25%あったそうです。小・中学校については、「学校図書館図書廃棄基準」を参考に廃棄は勧められているか伺います。

教育長：広野小・中学校においては、購入から年月が経過しているもの、破損したものを主に廃棄しています。正しい情報や図書館資料に触れる環境整備の観点、読書衛生上の観点から、適時、適切に廃棄及び計画的な図書の更新に取り組んでいます。

### 新型コロナ

## 5類感染症見直しによる町の取り組みは

町長／情報の把握と的確な情報発信等に取り組む

門馬：令和5年5月8日から、感染症法上の「新型コロナウイルス感染症」から5類感染症へ見直しされることになりました。変更にあたっての町の取り組みについて伺います。

町長：国から示される患者等への対応、医療提供体制等の情報把握、住民への的確な情報発信を行うと共に、新年度において円滑なワクチン接種に対応できる体制構築に取り組ま

### 賠償金

## 国等への要請が第五次追補に反映されていない

町長／賠償の格差は正に向けた要請を行っている

畑中：「中間指針第五次追補決定」は新聞等で報道されました。住民への、通知や請求書などが送られる時期は決定していますか。

町長：住民等への賠償請求に関する書面等の送付時期については、現在、東京電力ホールディングス(株)において、公表された内容以外の項目や受付開始時期などを検討中であり、令和5年3月中旬を目途に改めて発表することとしています。

畑中：福島原発避難者訴訟第1陣の判決で賠償額が支払われ、原告団と弁護団が原告と同等の賠償金を避難者全住民に支払うよう自治体としても国や東電に要請しました。今回の第五次追補ではその要請は反映されていないようですが、そのことは指摘されましたか。

町長：被災住民お一人お一人に誠心誠意に寄り添い、今回の賠償内容を上限とせず、賠償の格差は正に向けた要請を行っています。



はたなか ひろこ 畑中 大子 議員

### 町民バス

## 切実な願いを聞くべきではないか

町長／町民の声を捉え福祉の向上に取り組んでいく

畑中：多様化する町民のニーズや社会情勢の変化並びにコロナ禍の影響により、町民バスの利用者が減少してい

畑中：町民バスの循環方式は、町から距離があり定期的に利用している住民の乗車率が反映されていないのではないですか。

町長：多様化する町民のニーズや社会情勢の変化並びにコロナ禍の影響により、町民バスの利用者が減少してい

畑中：デマンド方式や町民バスを有料にして何とか公共交通を残してほしい、という切実な願いを聞くべきではないですか。

町長：町民に馴染みのある町民バス事業とタクシー利用料助成事業の見直しにより、町民の利便性の向上及び福祉の増進に寄与することとしています。町民の声を捉え、広野町地域公共交通活性化事業「NOSSE」のつせの運行により福祉の向上に取り組んでいきます。

### 直売所経営

## 経営方針はどのよう

町長／多くの人が利用する魅力ある直売所をめざす

畑中：今後は町が主体となりですが、どのように経営していくのか、方針はありますか。

町長：運営にあたっては、会計年度任用職員を配置し販売、売り上げの清算を行い、出品者は野菜等の搬入、陳列などの出店準備を行い、清算時において販売金額に対し手数料を町へ支払う運用となります。

畑中：野菜や果物などの生産者の数は、現在のどのような状況ですか。町は、直売所に出荷する農業者の数を増やしていくために、何をしたいのでしょうか。

町長：販売を目的として出荷している生産者数は、重複している方

畑中：専門の軽トラなどを利用した団地などへの定期的な販売を検討すべきではないでしょうか。

町長：平成30年7月、(株)セブンイレブンジャパンと協定を結び、町内において移動販売車により食料品などを販売する「セブンあんしんお届け便」を開始し、現在は週2回の移動販売を実施して